

田沼

新聞

32号

稲毛区

媚びない政治、ブレない政治、伝える政治

「創生日本」 田沼隆志

市議会ですら一人の
無所属（保守系）

議会報告



●野田新政権誕生。しかし党に問題あり！

野田総理が誕生して2カ月。依然、TPP、増税、原発対応、外交など、千葉市政とも大いに関連する重要な問題山積です。野田さんは民主党内では保守系であり、個人的に面識もありますが、党内融和重視の人事は最悪でした。結局、政策がバラバラでまとまらない民主党という党自体に問題があります。人事がこうなるのも必然です。これでは応援できません。

唯一期待するのは政界再編。民主党を“ぶっ壊して”欲しいです。結局、小沢さんが民主党内にいる限り、党内抗争はなくならないでしょう。民主党が脱社会主義者、脱日教組、脱小沢すべく、解散総選挙での政界再編を期待します。

野田総理も駅立ちで有名ですが、私自身も10月11日に、通算5回目の13時間連続演説マラソンを行いました。温かいご声援、ありがとうございました。詳しくはブログ（<http://ameblo.jp/tanuma>）をご覧ください！



終了時の記念撮影です！

●驚愕… 教科書採択の厚い壁！

8/3の教育委員会会議で、中学校社会科教科書はまたもや「東京書籍」が採択されました。しかしその会議の
中身は、ひどいと言わざるを得ないものでした… 9月議会ではその点を追求しました。

田沼の質問

「各社の、国を愛する心を養える箇所は？」との質問に対し、各社掲載の文化遺産が紹介されている。それで判断できるだろうか？各教科書別の歴史観こそ、紹介すべきだったのでは？

会議では「地理・歴史・公民の3分野で同一会社の教科書がよい」という意見があったが、これは国や県の「装丁や見栄えではなく内容を重視すべき」という通知に反するのでは？

いくつかの他県では、国の通知を受けて、採択基準を見直し「拉致」や「領土」などの項目を入れている。本市では、どう変わったのか？

答弁

会議では文化遺産のみを紹介したが、それだけで各教育委員は選んでいないはず。（田沼：愛国心を養えるかどうかは、日本の歴史を肯定するのか否かの、歴史観こそ重要では？文化遺産が第一に挙げられるのは見当違いです！）

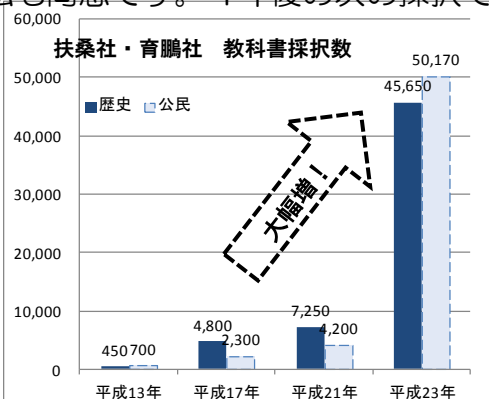
体裁を優先していない。同一発行者だと生徒に混乱が少ない。（田沼：採択に「混乱を起こさない」という基準は無い。重視すべきは教科の目標を達成できるかでは？会議でも「体裁だ」と書いてある。答弁に無理がある！）

県の通知に従い少し変更した。（田沼：ほぼ前回と同じままです！県教委からの項目がもっと具体的になっていればと、悔やまれます…）

総じて、**今回の教科書採択はひどかった。**歴史で肝心の歴史観の議論がなく、再三の採択改善通知にもかかわらず手続きもほぼ前と同様、採択の理由も「混乱が少ない」というあまりに理不尽なもの。これまで全力で正しい教科書選びを求めてきた自分の言葉が全く届かず無力感さえ感じました。

ただ、教科書におかしな記述があること、採択の段取りが硬直していること、民意もそう気づいてきていること等、理を尽くして丁寧に訴えてきたかがあり、心ある同僚議員や職員、市民の方の賛同も増えてきたのも事実です。**これが通じないのは教育委員会だけ。**こうなるともう、**組織の体質に構造的な問題がある**としか言えません！そこで9月議会では教育委員会の組織について、更に踏み込んで質問しました（裏面参照）。

千葉市では残念な結果となりましたが、全国的には「育鵬社」の教科書が大きく支持を広げました（左下図）。前回と比べ10倍近くの伸びです。育鵬社を採択した自治体の教育委員も、右下のように高い評価をしています。私も同感です。4年後の次の採択では、千葉市でも正しく選ばれるよう、これからも諦めずに頑張ります。



- 「郷土や国を愛する気持ちを持ち国際社会で日本の素晴らしさを伝える子供を育てたい。それには育鵬社がベスト」（大田原市）
- 「歴史上の人物が524名と一番多く、彼らがどんな時代を生きてどんな仕事をしてきたかわかりやすい」（藤沢市）
- 「近代国家建設の苦労と成果がきちんと記述」（横浜市）
- 「地区の教育方針として、公共心や家族をきちんと記す育鵬社がふさわしい」（戦争について、事実を抑制的・客観的に記述）（大田区）
- 「領土問題について他社よりも詳しい」（東大阪市）
- 「物語的な記述で歴史の興味を持てる。学習指導要領にも沿っている」（愛媛県）

●これが本質だ！教育組織のおかしな実態

教育委員会制度はこれまで、国の審議会（中教審）やその他でも、何度も改革すべきといわれてきました。しかしながら今もなお実行に移らないままです。千葉市でも教科書採択でみられた硬直性からわかるように、以下に挙げられるようなたくさんの課題を感じます。それらについて追及しました。

田沼の質問

市長は、教育委員を選定する重要な権限があるが、その際、事前に本人に会い、教育委員にふさわしいかをきちんと評価しているのか？

市長は、教育委員と教育政策を協議する会議などは定期的に行っているか？

市民の皆さんは、教育委員会の人数や職務を知っていると思うか？市民に対してそれだけの認知度があると思うか？

学校運営の責任を担う校長先生に、予算権や人事権を認めるべきでは？部下の先生の人事評価すらできないのでは、学校を統率できないのでは？！

教育委員が責務を果たさない場合、市長がその教育委員を罷免できるという制度案をどう考えるか？

答弁

会っていない。（田沼：会っていないのにどうやって「人格が高潔」で「見識を有する」という教育委員の選任基準を判断できるのでしょうか？まったく無責任です！）

行っていない。（田沼：中教審も「首長と教育委員との連携強化が重要」と答申しているのに…。千葉市の教育に対するやる気がみられません…）

思う。（田沼：右下の市民アンケート結果のように、実態は知られていません。身近な存在でもありません。説明責任を果たしているとは到底いえません！）

認めない。（田沼：学校運営は責任重大なのに権限はなし。それでは健全な学校経営も特色ある学校づくりも困難。校長先生にはある程度の権限が必要です！）

慎重な判断が必要。（田沼：教育委員会に対する、執行部や議会からの監視強化は必須。前向きに検討を！）

私はこれまで何度も、教育委員会の無責任体質について、問題を指摘してきました。その原因のひとつが、**責任と権限の不一致**です。そして、橋下前大阪府知事が「教育現場は治外法権」と述べたように、誰も教育行政をチェックできなくなっているのです。**これで健全な教育行政の運営ができるでしょうか？**

現場の学校でも、責任と権限の不一致が、さまざまな学校経営上の問題に悪影響を及ぼしていると思います。

教育改革、特に教育組織の改革には、市長の教育に対する熱意とリーダーシップが不可欠です。しかし熊谷市長は「政治の教育への中立」をうたって実質的な行動が全く伴っていません。これでは教育の立て直しは進みません。これからも理解を求め続けます。

教育委員会の具体的な職務・権限を知っていますか？

いいえ

81%

教育委員会は、身近な存在だと思いますか？

94%

教育委員会は、教育行政の最高意思決定者として、説明責任を果たしていると思いますか？

96%

N=147

好評！ 第6回市政懇談会 日時：12月4日(日)14時～ 場所：田沼事務所

予約不要です。どなたでもお気軽に♪

●中国を初視察。意義大でした

有志の市議団で10月末に、千葉市と友好都市25周年の天津市、15周年の呉江市を訪問しました。呉江では市役所を訪問し、都市計画や経済政策、観光政策について話を聞くことができました。個人的には初の中国訪問でしたが、**やはり現地に行くと、いまの中国の可能性や問題点が生で感じられ、大変意義の大きい視察でした。**一言でいえば「巨大な発展途上国」。急成長にモラルがついていないので、関心が自分のことだけ。また建物も史跡も何でも、外見は大きくカッコいいですが、日本のような繊細さに欠けます。

悪く言っているのではなく、これが現代中国の価値観なのでしょう。それに対し日本の基準だけで善悪を述べてはいけないと思いますが、外交的対処にはその国の価値観を知ることが不可欠です。やはり海外に行くと逆に日本が見える。**今後は日本のみならず、世界の国々の動きにも注目していきたいです。**



右から2番目が私、3番目が宇留間団長。両端は呉江市幹部の方です

田沼隆志の伝える政治

- 田沼新聞は季刊です。各議会終了後、稲毛区全戸に新聞折込
- 市政懇談会も、原則年4回、各議会終了後開催
- 事務所は毎週土曜日午後に関所。予約不要です

- ブログ (<http://ameblo.jp/tanuma>) もしばしば更新。色々なご連絡や、骨太の主張も、全てここが中心。ぜひ定期チェックを！
- 好評のメルマガ「田沼ニュース」発行は月2、3回程度です。登録募集中！ tanuma@tanuma.info に「配信希望」と送信下さい♪



千葉市議・田沼隆志（無所属）

- 昭和50年（1975）生 35歳
- 園生幼、小中台南小、小中台中、千葉東高、東京大学 卒
- 平成21年千葉市議補選にて最高位当選（11,781票）
- 平成23年千葉市議選にて再び最高位当選（8,522票）



お気軽にご連絡を♪

Twitter @tanumatakashi (投稿多数！)
 Blog <http://ameblo.jp/tanuma>
 Mail tanuma@tanuma.info
 TEL 043-253-9610 (必ずお返事します)
 事務所 小仲台4-14-8 (『園生団地入口』バス停向い)